

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	井野 加織、山本 あいり	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	イベント企画を中心にコミュニケーションやスケジュール管理などを体感し、授業の中でPDCAを学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イベント業界で通用する為のプレゼンテーション資料、打ち合わせ書類の作成をする中でグループワークの難しさを学び人間力を発達させる				
授業概要	イベント毎にPDCAサイクルを実施し、個人ならびに集団でのデータ分析を座学形式で行う				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介・挨拶・ゼミとは？	19	後期ゼミ テーマ・目標・目的設定	
	2	プレストについて(手法の紹介・実践)	20	企画立案のためのフィールドワーク①	
	3	プレストについて(テーマをもとに)	21	企画立案のためのフィールドワーク②	
	4	企画の作り方(ケーススタディ)	22	企画会議①	
	5	企画会議①	23	企画会議②	
	6	企画会議②	24	企画提案①・ブラッシュアップ	
	7	企画書の作り方 基本編	25	企画提案②	
	8	企画書の作り方 応用編	26	企業に提案するには？	
	9	企画書 提出	27	イベント告知方法について	
	10	企画発表 講評	28	イベント集客方法について	
	11	チームごとに企画再案①	29	イベント最終準備	
	12	チームごとに企画再案②	30	イベントリハーサル	
	13	プレゼンテーション方法①	31	イベント本番	
	14	プレゼンテーション方法②	32	イベント振り返り	
	15	企画を提案するには？	33	最終報告会準備	
	16	中間発表に向けて	34	最終報告会	
	17	中間発表	35	最終報告会振り返り	
18	前期講評	36	1年間の総評		
成績割合	テスト		学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	70%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下 は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≧50% R≪実働実践型学習≧20% A≪主体的参加型学習≧20% G≪海外体感型学習≧10%				
講師プロフィール	イベント制作会社を経て現在フリーランスでアーティストのライブツアーからIT企業のセミナー、展示会の運営等幅広いジャンルのイベント企画・制作を行う。				

シラバス

科目名	PA・照明実習A		担当者名	浜田 勇太、芝川 裕哉	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開講期 必・選	通年 必修	授業時間数	216時間
授業目的	PAの基礎を学び、機器の取り扱い、舞台での立ち振る舞い、音響的感覚を養う 照明の基礎的な機器の取り扱い、色彩感覚を養う ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	企画、制作、出演等全てを自分達の手で本番を行い、公演を成功させる 様々なイベントに対応できる知識と技術を習得し、自分たちの手で本番を行い公演を成功させる				
授業概要	実際の現場を想定し、実践的な技術習得を実習形式で行う				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	基礎舞台について スモーク/SSについて 仕込み	
	2	オリエンテーション②	20	PA実践③_A(3WaySystem) 卓の説明・操作/フロント/シーリングについて・仕込み	
	3	オリエンテーション③	21	PA実践③_B(3WaySystem) 仮設電源について・仕込み	
	4	実習上の注意、前期・後期発表日取り	22	PA実践③_C(3WaySystem) イントレ仕込み	
	5	PA基礎①_A(BoseSystem) 灯体の吊り方、回路、色、SUS・ボタンについて	23	PA実践④_A(MonitorMix) 星球/ストロボについて 仕込み	
	6	PA基礎①_B(BoseSystem) 灯体の種類(PARライト) 仕込み	24	PA実践④_B(MonitorMix) PINについて 仕込み	
	7	PA基礎②_A(BoseSystem実践) 灯体の種類(凸・フレネル) 仕込み	25	PA実践④_C(MonitorMix) Footについて 仕込み	
	8	PA基礎②_B(BoseSystem実践) 灯体の種類(ITO) 仕込み	26	PA実践⑤_A(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(バラード)	
	9	PA実践①_A(2WaySystem) 灯体の種類(ソースフォー) 仕込み	27	PA実践⑤_B(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(アップテンポ)	
	10	PA実践①_B(2WaySystem) 灯体の種類(ミニブル) 仕込み	28	PA実践⑤_C(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(芝居)	
	11	PA実践①_C(2WaySystem) 灯体の種類(LH・UHL) 仕込み	29	後期発表_RH.1	
	12	PA実践②_A(Band Mix) 灯体の種類(ミラーボール) 仕込み	30	後期発表_RH.2	
	13	PA実践②_B(Band Mix) セクション毎に仕込み①(RH/本番の流れについて)	31	後期発表_GP	
	14	PA実践②_C(Band Mix) セクション毎に仕込む②(RH/本番の流れについて)	32	後期発表	
	15	前期発表_RH.1	33	後期反省会	
	16	前期発表_RH.2	34	まとめ①	
	17	前期発表	35	まとめ②	
18	前期の反省、後期発表に向けて	36	まとめ③		
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B 70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	本校卒業生 2002年有限会社湘南音響入社、以後コンサート、イベントでのPA業務に従事 照明オペレーター、プランナー、プロジェクトマネーピングオペレーターとして、数多くのライブ/コンサートを経験、国内、海外共にイベントの照明技術者として幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している				

シラバス

科目名	舞台技術		担当者名	渡邊 政美、金井 康幸	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	仕事として、現場に出た際困らないように基本的な知識をなるべく多く学生に伝えていく				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	仕事として現場に出る際、舞台技術で学んだ知識はすぐに役立つと考える。専門用語や特殊な場所の名前等ある中で戸惑いを少しでもなくし、実践につなげられる人材になるよう、様々な知識、経験上の話などを伝えていく。				
授業概要	舞台(イベント)に関わる仕事をするにあたり、大切に最も基本的な「挨拶をきちんとする」をはじめ、舞台用語、場所・機構の名前、それぞれの役割を理解する。舞台の世界では未だ使われている「尺貫法」を理解する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	試験対策	
	2	オリエンテーション②	20	試験	
	3	オリエンテーション③	21	試験講評	
	4	講師と学生の自己紹介、及び今後の舞台技術の授業に関して	22	ホール管理について	
	5	舞台用語、場所の名前、それぞれの役割、各注意点をプロ音響データブックを参考にし、powerpointを使い伝える	23	舞台に関する仕事について	
	6	同上(中割幕、大黒幕など)	24	山台の組み方(復習、基礎編1)	
	7	同上(舞台用語に関して)	25	山台の組み方(基礎編2)	
	8	同上(暗転幕、バトンなど)	26	山台の組み方(基本編3)	
	9	同上(アッパー・ホリゾントライトなどと、平面図に関して)	27	山台の組み方(応用編 迫)	
	10	同上(綱元、操作盤など)	28	山台の組み方(応用編 2枚重ね)	
	11	同上(迫、すのこなど)	29	山台の組み方(応用編 縦敷き、変形1)	
	12	同上(反響板、オーケストラピットなど)	30	山台の組み方(応用編 変形2)	
	13	同上(所作台、本花道など)	31	舞台での禁止行為に関して	
	14	同上(山台)、尺貫法、平台、箱馬に関して	32	操作盤周辺、ピアノの移動、搬入口に関して	
	15	高さのない山台の組み方	33	試験対策	
	16	高さのない山台の組み方	34	試験	
	17	舞台用語(常識幕、高座台など)	35	試験の講評	
18	舞台用語(シーリング、フロントなど)	36	まとめ		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	東京工学院音響芸術科卒業の後、株式会社岡田舞台にて、ホール管理及び技術者として勤続30年以上になる。勤務した会館は5館目となり、ホールチーフとして15年以上の経験を持つ。				

シラバス

科目名	制作実習		担当者名	山本 あいり	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	108時間
授業目的	イベント企画を通じて コミュニケーション能力、行動力、柔軟な発想力を養う				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人で企画立案できる人材育成				
授業概要	各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画立案・プレゼンを座学形式 ならびにグループワークで行う				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	AtoZを使用したイベント企画①	
	2	オリエンテーション②	20	AtoZを使用したイベント企画②	
	3	オリエンテーション③	21	AtoZを使用したイベント企画③	
	4	イベントスケジュール確認	22	AtoZを使用したイベント企画④	
	5	話し合いの進め方について	23	AtoZを使用したイベント企画⑤	
	6	学内イベント企画(特殊効果中心に立案)①	24	学内向けクリスマスパーティー企画立案①	
	7	学内イベント企画(特殊効果中心に立案)②	25	学内向けクリスマスパーティー企画立案②	
	8	学内イベント企画(準備期間)①	26	学内向けクリスマスパーティー企画立案③	
	9	学内イベント企画リハーサル②	27	学内向けクリスマスパーティー(リハーサル)①	
	10	学内イベント企画 本番	28	学内向けクリスマスパーティー(GP)②	
	11	学内イベント企画を振り返って	29	学内向けクリスマスパーティー本番	
	12	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画書作成①	30	学内向けクリスマスパーティーを振り返って	
	13	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画書作成②	31	TECHNOS展学科企画①	
	14	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画打ち合わせ③	32	TECHNOS展学科企画②	
	15	夏休みのスケジュール作成①	33	TECHNOS展学科企画③	
	16	夏休みのスケジュール作成②	34	まとめ①	
	17	前期まとめ①	35	まとめ②	
	18	前期まとめ②	36	年間総評	
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	50%	成績評価	授業全体を100%として出席率・意欲・柔軟性・協調性それぞれを換算し合計点数で成績評価を行う、	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	音響技師として、数多くのライブ/コンサートを経験、幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している				

シラバス

科目名	音響技術 I		担当者名	榎田 博、岩下 保広、米倉 良春	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	技術的な基礎知識を身につける。／論理的な思考力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ハードウェア：アナログ電気音響の基礎から、音響機材の種類と使用目的を理解する。 ソフトウェア：現場においてのスタッフとしての責任や、音響マンとしての役割を理解する。				
授業概要	前半は、音響の仕事の内容や職種・ポジションなどのソフト的な説明から、電気・電子の基礎を学ぶ。 後半は、マイクロフォンからスピーカーまでの各機材の種類や機能・使用目的を理解する。 また、楽器の発音の仕組み・音の性質・聞こえる仕組み・心理効果等を説明する。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	PAの世界	19	インプット 1 (マイクロフォンの分類/動作原理/指向性)	
	2	音響に必要な算数・数学 (四則演算の順序/分数/指数/対数)	20	インプット 2 (ピックアップ/D.I./マイク・マルチケーブル/スタンド)	
	3	舞台・音響の略号・略名と仕込図 (音響機材の略号・略名/楽器の略名/ハンドサイン)	21	アナログミキサー 1 (インプット モジュール)	
	4	電気の基礎 1 (電圧/電流/回路)	22	アナログミキサー 2 (バス/アウトプットモジュール/マトリックス)	
	5	電気の基礎 2 (負荷/電力/商用電源)	23	周辺機器 1 (イコライザ/空間系エフェクタ)	
	6	電子の基礎 1 (抵抗/コンデンサ/コイル/トランス)	24	周辺機器 2 (ダイナミック系エフェクタ/再生機器)	
	7	電子の基礎 2 (インピーダンス/dB)	25	アウトプット 1 (DSP/パワーアンプ/スピーカーケーブル)	
	8	電子の基礎 3 (増幅/フィルター/平衡伝送)	26	アウトプット 2 (ユニット動作原理/エンクロージャ)	
	9	音とは？ (振動/疎密波/音波/音/音の三要素)	27	アウトプット 3 (ルームアコースティクス)	
	10	音の性質 (進行波/定在波/干渉/屈折)	28	デジタルオーディオの基礎 1 (PCM変換/DSD変換/ADC・DAC)	
	11	聞こえる仕組み (物理現象→生理現象→心理現象)	29	デジタルオーディオの基礎 2 (パケット/圧縮/MIDI)	
	12	音の心理学 (音の大小と対数/音圧/等ラウドネス)	30	デジタルオーディオの基礎 3 (デジタル伝送)	
	13	音の心理効果 (耳が二つ/ステレオフォニック～イマーシブ)	31	PAプランニング (情報と資料)	
	14	ケーブルの知識 (目的別分類と構造)	32	リクエスト講義 1 (予備：音響に関する法規と検定・資格)	
	15	音響電源 (商用電源/受電方式/ノイズ/アース)	33	リクエスト講義 2 (予備：現場での事故事例、安全対策)	
	16	前期まとめ	34	後期まとめ	
	17	前期末試験	35	後期末試験	
18	前期末試験 解答と解説	36	後期末試験 解答と解説		
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B 70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	音響技術者として40年以上のキャリアを持ち、現在も音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍する。 近年ではコロナ禍の対応として、音楽配信やヴァーチャル配信の音声も担当。				

シラバス

科目名	照明技術 I		担当者名	柳戸 勲、石毛 昌友	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	舞台スタッフとしての心構え、知識、人間性、総合力の確立を目指す。また舞台照明における基礎的な知識を身に着ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業界・ステージ・スタジオ・イベント等における照明の理論、基礎知識を学び、照明に対する興味を深め自覚を促進する。				
授業概要	「学び」「考え」「行動」を最下のテーマとしてとらえ、照明における知識、技術、応用、構成力、デザイン等を学びチームワークの必要性を理解し習得する				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介・照明とは・光の作用・光の三原色	19	方向の明かり	
	2	劇場機材の吊りもの、照明	20	デザインの考え方	
	3	灯体の構造、アクセサリ、種類	21	カラーフィルター・FOHについて	
	4	回路・コンモ・ケーブル・コネクタについて	22	役割について(デザイナーとオペレーター)	
	5	長さの単位、平台、タッパ、間口	23	映像照明とは①	
	6	フロア周り、サスペンション、ホールの設備	24	映像照明とは②	
	7	照明光学・逆二乗の法則	25	機材の種類と説明①	
	8	電気工学・仮設について	26	機材の種類と説明②	
	9	安全の基本について	27	撮影方法①	
	10	事故防止について	28	撮影方法②	
	11	舞台照明の心構えについて	29	撮影方法③	
	12	ホールスタッフ・カンパニースタッフ	30	ロケと言われる外での撮影方法①	
	13	コンサート照明と演劇照明	31	ロケと言われる外での撮影方法②	
	14	用語解説①	32	ロケと言われる外での撮影方法③	
	15	用語解説②	33	室内での撮影方法①	
	16	エフェクトと特殊効果について	34	室内での撮影方法②	
	17	試験について傾向と対策	35	まとめ	
	18	講評	36	まとめ	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 100~90点 A 89~80点 B 79~70点 C 69~60点 D 59点以下(不可)	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	舞台を中心(バレエ・オペラ・芝居・語り・シャンソン等)の照明デザイン・技術操作を担当。経験を基に広くスタッフの養成への授業を展開する。 映像を中心に照明オペレーターを務める。				

シラバス

科目名	コミュニケーション英会話 I		担当者名	Jina McCullough		
学科	コンサート・イベント科		授業方法	講義		
認定単位	2単位	開講期	通年	授業時間数	36時間	
開講学年	1学年	必・選	必選			
授業目的	This class is about learning basic grammar and vocabulary used in conversational English, starting at the beginner level. このクラスは、英会話で使用される基本的な文法と語彙を初級レベルから学びます。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Students will be able to communicate in English conversations about various commonly discussed topics. 学生は、よく議論されるさまざまなトピックについて英会話でコミュニケーションできるようになります。					
授業概要	Students use the textbook "Four Corners" to learn a new grammar concept every week, as well as vocabulary associated with a specific conversational topic. 学生は教科書「Four Corners」を使用して、毎週新しい文法の概念と、特定の会話トピックに関連する語彙を学びます。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	Unit 1 Lessons A + B		19	Unit 7 Lessons A + B	
	2	Unit 1 Lessons C + D		20	Unit 7 Lessons C + D	
	3	Mini Quiz		21	Mini Quiz	
	4	Unit 2 Lessons A + B		22	Unit 8 Lessons A + B	
	5	Unit 2 Lessons C + D		23	Unit 8 Lessons C + D	
	6	Mini Quiz		24	Unit Conversation Exam	
	7	Unit 3 Lessons A + B		25	Unit Conversation Exam	
	8	Unit 3 Lessons C + D		26	Unit 9 Lesson A + B	
	9	Mini Quiz		27	Unit 9 Lessons C + D	
	10	Unit 4 Lessons A + B		28	Mini Quiz	
	11	Unit 4 Lessons C + D		29	Unit 10 Lessons A + B	
	12	Unit Conversation Test		30	Unit 10 Lessons C + D	
	13	Unit Conversation Test		31	Mini Quiz	
	14	Unit 5 Lessons A + B		32	Unit 11 Lessons A + B	
	15	Unit 5 Lessons C + D		33	Unit 11 Lessons C + D	
	16	Mini Quiz		34	Unit 12 Lessons A + B	
	17	Unit 6 Lessons A + B		35	Unit 12 Lessons C + D	
18	Unit 6 Lessons C + D		36	Final Exams		
成績割合	テスト	50%		学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下	
	学習態度・出席率	50%				
	レポート	0%		成績評価		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>35% A<<主体的参加型学習>>35% G<<海外体感型学習>>30%					
講師プロフィール	私はベイツ大学を卒業し、日本文化の学士号を取得しました。私はテクノスカレッジでティーチングアシスタントとして1年間過ごし、教師に昇進しました。					

シラバス

科目名	コンピュータ I		担当者名	鎌倉 規匠	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	学科及び卒業後も必要とされる事務及び制作に欠かせない作業を踏まえての基本操作の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	PCで書面作成も楽になる				
授業概要	"座学が基本。教科書に沿って説明し、その他必要な操作は課題等で補いながらPCに於ける基本操作を習得する。"				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	パワーポイント動画作成・発表①	
	2	オリエンテーション②	20	パワーポイント動画発表②	
	3	オリエンテーション③	21	パワーポイント動画発表③	
	4	講義概要・予定説明、キーボード操作	22	パワーポイント動画発表④	
	5	ブラインドタッチ・タイピング・Word基本操作・保存	23	パワーポイント動画発表⑤ まとめ	
	6	文字入力と文・英文・基本的なショートカットキーの利用	24	Excelの概要・基本操作①文字・数値入力	
	7	特殊文字・フォントについて、ページレイアウト	25	基本操作②オートフィルブックとシート	
	8	ビジネス文書の形式・マナー、記以上文・時節・あいさつ文	26	表の作成入力・関数	
	9	ビジネス文書制作 表の挿入・削除・結合その他、装飾	27	関数①	
	10	区切り・セクション区切りの利用・縦書き・テキストボックス利用	28	関数②	
	11	ワードアート・図形の挿入・ドロップキャップの利用	29	フィルター・RANK・検索・置換	
	12	チラシ制作課題	30	行・列の挿入・削除表示非表示	
	13	復習課題	31	表データを利用したグラフ作成・グラフ概要説明・データの追加	
	14	パワーポイント概要説明・スライド制作・テーマ	32	グラフ要素の追加・レイアウト・グラフ・スタイルの変更・移動。スパークライン	
	15	ワードアート・画像・音楽挿入	33	復習課題	
	16	アニメーション・画像切り替え	34	まとめ①	
	17	スライドショーとは？ヘッダーフッター・リハーサル・保存方法	35	まとめ②	
18	パワーポイント動画作成	36	まとめ③		
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	成績は、課題、出席、授業態度等を総合的に勘案して決定する。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	海外音楽大学卒業 プロのミュージシャンの傍らコンピューター技術をイベント観点から学び幅広く仕事として活用。その経験を活かし工学院・テクノスにて複数学科で授業を持っている。マルチに活躍する講師 若戸大橋宣伝大使も務めている。				

シラバス

科目名	ステージ・テクニク		担当者名	長谷川 浩司、村野 浩一、月岡 靖智、岩元 真樹、丸山 和男、岫 誠彦	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	3単位	開 講 期	通年	授 業 時 間 数	54時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	イベント業界で働く上での業務の理解、スケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人としての成長を目的とする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イベントで使用する各種資料、アイテムなどの理解を深め、実習、実技などで具体的に授業目標を定める				
授業概要	現場に必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	「譜割り」の作成	
	2	オリエンテーション②	20	実際の楽器を使つてのローディー実践①	
	3	オリエンテーション③	21	実際の楽器を使つてのローディー実践②	
	4	ジャンル別に求められるスタッフの違い	22	シーケンスを使った同期演奏の実践	
	5	イベントに関わる全セクションの業務内容	23	学祭に向けての現場テクニクの復習	
	6	制作業務の講義、シミュレーション	24	学祭の反省会	
	7	シミュレーションを取り上げての予算案説明	25	「特殊効果」の種類と消防法	
	8	まとめ①	26	「特殊効果」の実践	
	9	スケジュールの作成方法	27	クリスマスイベント 全セクション合同打ち合わせ	
	10	舞台上で使用する道具や、寸法の説明	28	クリスマスイベント 最終技術打ち合わせ	
	11	図面の見方及び、作成方法	29	クリスマスイベント 反省会	
	12	グループに分かれて「パマリ」の実践	30	演出で求められる「キッカケ」	
	13	イントレ&平台等、基礎舞台作成方法	31	コンサート映像を見ての進行表の作り方	
	14	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	32	2年生の卒業制作のための技術予習	
	15	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	33	1年間を通してのまとめ及びプロ意識の講義	
	16	まとめ②	34	まとめ①	
	17	スタッフとしての方向性議論	35	まとめ②	
18	「譜割り」の作成方法	36	まとめ③		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場で活躍している				

シラバス

科目名	演出概論		担当者名	長谷川 浩司、村野 浩一、月岡 靖智、岩元 真樹、丸山 和男、岫 誠彦	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	3単位	開講期	通年	授業時間数	54時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	イベント業界で働く上での業務の理解、スケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人としての成長を目的とする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イベントで使用する各種資料、アイテムなどの理解を深め、実習、実技などで具体的に授業目標を定める				
授業概要	現場に必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	「譜割り」作成	
	2	オリエンテーション②	20	「ローディー(楽器)」の業務内容説明	
	3	オリエンテーション③	21	実際の楽器を使っでのローディー実践	
	4	イベントにおけるスタッフの存在意義	22	シーケンスを使った同期演奏のメカニズム	
	5	イベントに関わるセクションの役割	23	学祭に向けての役割、セクションの意思確認	
	6	制作業務の講義・シミュレーション	24	学祭の反省会	
	7	シミュレーションを取り上げての予算案説明	25	ステージにおける「特殊効果」について	
	8	まとめ①	26	「特殊効果」実践	
	9	舞台監督の業務及び他スタッフとの関係性	27	クリスマスイベント企画会議、叩き台本作成	
	10	舞台用語、舞台機構などの基礎知識の講義	28	クリスマスイベント最終台本打ち合わせ	
	11	舞台美術の説明、デザイナーの存在意義	29	クリスマスイベント反省会	
	12	「バリ」の必要性や方法の説明	30	「譜割り」の復習とキッカケ	
	13	グループに分かれて「バリ」の実践	31	コンサート映像を見て演出の抜き出し	
	14	まとめ②	32	2年生の卒業制作のための技術演習	
	15	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	33	1年間を通してのまとめ及びプロ意識の講義	
	16	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	34	まとめ①	
	17	現場に参加しての感想、意見交換	35	まとめ②	
18	「譜割り」の説明及び、必要性	36	まとめ③		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場で活躍している				

シラバス

科目名	イベントプロデュース		担当者名	本多 功一	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	通年 必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	エンタテインメント業界における業種の理解を進め、現場の業務に支障なく遂行できることが科目としての目的である。イベントを企画して実施するまでのような手配で進めていくのか、それに付随した安全第一からの視点、利益を生み出すビジネスとしての視点、権利の重要や送り手としての視座を獲得していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業種の理解、業種間での業務、権利の基礎、各種メディアの機能、イベント制作の流れ、代表的な法人の理解をした上で、現場に出て困らない情報を身に付ける。				
授業概要	エンタテインメントの中でも音楽分野に比重を置き、コンサート制作の基本から、手続き、依頼、発注、実施まで、企画からの流れを時系列で理解する。また権利ビジネスであることから、関連法規や権利の理解を図る。あらゆるイベントに対応できる情報を身に付ける。セルフプロデュースとしてのアイデンティティの構築を目指し、多様な思考を獲得できるようにしていく。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	科目の概要説明、エンタメ業界で特に意識しておくべきこと、特徴、権利の概要について	19	コンサート予算について	
	2	業種の解説と関連するつながりについて、相関図を基にして理解する	20	宣伝・宣材・マーケティングの基礎	
	3	企画とはなにか、アイデアを生み出す方法	21	消費者行動と行動心理学、プロモーション	
	4	企画から実施までの流れを一年間のスパンでどのような業種が関わるかを理解する	22	文章で相手に伝える プレゼンと書面の基礎	
	5	コンサート予算について、具体的な金額から、売上と経費、利益について理解する	23	コンサートの種類・会場からの分類	
	6	目的とはなにか、エンタメ業界での企画を書面から読み取る	24	コンサートの目的・形態からの分類	
	7	メディアとはなにか、業務に関わるメディアについて理解する	25	広告代理店の仕事とイベント	
	8	Webメディアと地上波の融合について、放送法についても一定の理解をしておく	26	著作権の基礎1 著作権とはなにか	
	9	デザインの基本として、雑誌や映像でのコンテを使い、伝えることの訴求について理解する	27	著作権の基礎2 原盤と出版権、宣伝に関わる権利	
	10	楽器と機材の基本	28	著作権の基礎3 映像、ライブに関わる権利	
	11	ライブイベントでの楽器・機材を歴史で振り返る	29	映像の基礎 MV、VP、PV 映像業務の理解	
	12	アイデンティティと音楽	30	伝達課題 クラス内でのプロモーション(グループまたは個人)	
	13	安全第一のイベント制作	31	ホール機構 ホールの機構と音響設計の仕組み	
	14	メディアで規制する言葉とその理由	32	ホールとライブハウス、コンベンションホールについて	
	15	メディアの効果と怖さ	33	予算組みをしてみる	
	16	ライブ関係書類について	34	ビジネスの基本 売上ー経費＝利益 簿記の基礎	
	17	構成譜を作る、裏方の書類	35	コンサート関連職種のみまとめ	
18	表方、裏方の業種と職種	36	あると便利なスキルを業種ごとにまとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上、 S 90～100点、A 80～89点、 B 79～70点、C 60～69点、 D 59点以下(不可)	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≧≧50% R≪実働実践型学習≧≧20% A≪主体的参加型学習≧≧20% G≪海外体験型学習≧≧10%				
講師プロフィール	各種イベントの企画制作、舞台監督				

シラバス

科目名	コンピュータⅡ		担当者名	鎌倉 規匠	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	チラシや制作に欠かせないデザイン及び編集作業におけるイラストレーター・Photoshopの基本操作の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	PCでデザインも楽になる				
授業概要	座学が基本。Tshirtsや、チラシなど実際にオーダーしながら実践を通して、デジタルデザインの基本操作を習得する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	Tshirts制作②	
	2	オリエンテーション2	20	作成・発表	
	3	オリエンテーション3	21	イラストレーターとphotoshopの違い	
	4	講義概要・予定説明、ソフト説明	22	マスク	
	5	色彩とパッケージ	23	色彩とコントラスト	
	6	線の持つ力 立方体の描き方	24	レタッチ	
	7	円柱と円、光と影の描き方	25	服の色を変えてみよう	
	8	図形ツール選択ツールについて(イラレ)	26	不要なものを違和感なく消す	
	9	ロゴ制作の基本操作	27	空を変更しよう	
	10	レイヤーを使おう	28	調光・光と影	
	11	直線ツールと曲線ツールの練習	29	フィルター	
	12	フォント制作	30	チラシ制作①	
	13	ロゴを作ってみよう①	31	チラシ制作②	
	14	ロゴを作ってみよう②	32	復習・まとめ	
	15	大きさと配置	33	復習・まとめ	
	16	名刺制作①	34	確認テスト・まとめ1	
	17	名刺制作②	35	確認テスト・まとめ2	
18	Tshirts制作①	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	*出席率80%以上、 S 90~100点、A 80~89点、 B 79~70点、C 60~69点、 D 59点以下(不可)*	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	海外音楽大学卒業 プロのミュージシャンの傍らコンピューター技術をイベント観点から学び幅広く仕事として活用。その経験を活かし工学院・テクノスにて複数学科で授業を持っている。マルチに活躍する講師 若戸大橋宣伝大使も務めている。				

シラバス

科目名	音響技術Ⅱ		担当者名	榎田 博、岩下 保広、米倉 良春	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	1年時に習得した基礎を元に、実習と照らし合わせて応用力を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	卒業制作実習や学内外のイベントと連動したハード・ソフトウェアの知識や応用を習得する。				
授業概要	㊸ マイクロフォンからスピーカーまでの各機器の構造を理解する。 ㊹ スピーカーから放出される音の理論上の音圧を理解し、計算により導きだせる。 ㊺ ㊸と㊹の組み合わせにより、必要とする理論上のシステム構築が出来る。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	OutSystem 1 [実践編] (NEXO AlphaSystemの取扱方法/位相)	19	システム構築 1 (レベルバランス・インピーダンスマッチング・減衰)	
	2	OutSystem 2 [理論編] (ポイントソース/ラインアレイソース)	20	システム構築 2 (距離減衰・音圧合成)	
	3	デジタルミキサー 1 [実践編] (実機取扱方法)	21	音響プランニング 2 [実践編] (TECHNOS祭対応 1)	
	4	デジタルミキサー 2 [アプリ編] (オフラインエディタの使用法)	22	音響プランニング 3 [実践編] (TECHNOS祭対応 2)	
	5	資料作成 1 (組織図/作業SC/回線表/卓プラン)	23	録音/再生技術 (DAW/SF-bit-デプスとデータ容量)	
	6	マイキング理論/ミキサー出力 (種類・距離・角度/用途別種類)	24	音響プランニング 4 [実践編] (軽音連イベント対応)	
	7	システムチューニング (理論/定在波/チューニング部材)	25	放送・配信音声 (同期信号/LUFS)	
	8	資料作成 2 (出庫表/積込図/発注書/賃借表)	26	リギングの基礎 1 (リギングパーツ/安全管理)	
	9	音声分岐/野外現場/舞台転換 (スプリット/風雨熱対策/転換表)	27	リギングの基礎 2 (シミュレーターアプリの使用例)	
	10	ワイヤレスシステム 1 [実践編] (ワイヤレスマイクとIEM)	28	学生発表 1	
	11	ワイヤレスシステム 2 [理論/アプリ編] (高調波/chプラン/WWB)	29	学生発表 2	
	12	音響電源とノイズ (電位差/アース/コモン・ノーマルモード/振分表)	30	学生発表 3	
	13	音響プランニング 1 [実践編] (夏イベント対応)	31	リクエスト講義 (予備: 音響機材の歴史変貌とトレンド機材)	
	14	デジタルオーディオネットワーク (トポロジ/プロトコル/リダグナント)	32	音響プランニング 5 [実践編] (卒業制作対応 1)	
	15	資料作成 3 (台本・進行表 追記/歌詞カード)	33	音響プランニング 6 [実践編] (卒業制作対応 2)	
	16	前期まとめ	34	後期まとめ	
	17	前期末試験	35	後期末試験	
18	前期末試験 解答と解説	36	後期末試験 解答と解説		
成績割合	テスト	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	音響技術者として30年以上のキャリアを持ち、現在も音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍する。				

シラバス

科目名	照明技術Ⅱ		担当者名	宮澤 正士、齊藤 葵、親富祖 政士郎	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	現場で通用する職業人の育成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各イベントに向けての多角的なアプローチ、実習では学び辛いような深いところを突き詰める。				
授業概要	現場を円滑に回すための知識を習得すること、現場に行くまでの下準備の大切さを教える。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	小テスト・オリエンテーション	19	テクノス祭に向けて	
	2	アドレス、HTTP・LTP、パラメーター	20	テクノス祭反省	
	3	二進法、明かりの種類	21	映像からキューを起こす②	
	4	仮設現場、電源、ピンキュー	22	ホール打ち合わせのやり方	
	5	トラッキング、DMXの仕組み	23	色彩研究①	
	6	施工図面の書き方	24	色彩研究②	
	7	譜割り、データ表の書き方	25	色彩研究③	
	8	照明のプランについて	26	クライブに向けて	
	9	ムービングの仕組み	27	卒業制作に向けて	
	10	映像からキューを起こす①	28	卒業制作に向けて	
	11	イベントに向けて	29	期末考査	
	12	イベントに向けて	30	テスト返却	
	13	イベント反省	31	リクエスト授業①	
	14	ネットワークについて	32	リクエスト授業②	
	15	前期まとめ	33	リクエスト授業③	
	16	テスト返却、解説	34	現場人座談会	
	17	ダンス	35	年間総まとめ	
18	テクノス祭に向けて	36	4月からに向けて		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	照明技術者として多くの会社に従事。				

シラバス

科目名	卒業制作A		担当者名	宮澤 正士、齊藤 葵、親富祖 政士郎	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	実習	
認定単位	6単位	開講期	通年	授業時間数	216時間
開講学年	2学年	必・選	必修		
授業目的	卒業制作に向け、様々なイベントを通じアナログからデジタルまでの機材、トラブルシューティングなど即戦力になる人材を育てる				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	総合的な照明技術及び知識の習得と活用が可能。 どんなイベントでも対応することのできる照明技術者に				
授業概要	照明卓を学び、照明技術の向上、音楽やイベントに合った照明プランニングを学び、本番当日までの作業フロー、全体を学ぶ。				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション～ロープワーク	19	レーザーについて②	
	2	アナログ機材について(復習)	20	TECHNOS祭対策①	
	3	デジタル機材について	21	TECHNOS祭対策②	
	4	デジタル卓説明①	22	TECHNOS祭RH	
	5	デジタル卓説明②	23	TECHNOS祭本番	
	6	LEDについて①	24	TECHNOS祭振り返り	
	7	LEDについて②	25	特殊なセッティング方法について	
	8	ムービングライトについて①	26	PIN SPOTの操作方法 応用編②	
	9	ムービングライトについて②	27	特殊なセッティング方法について②	
	10	仮設電源について①	28	卒業制作対策①	
	11	仮設電源について②	29	卒業制作対策②	
	12	PIN SPOTの操作方法 応用編	30	卒業制作対策③	
	13	夏イベント対策①	31	卒業制作対策④	
	14	夏イベント対策②	32	卒業制作対策⑤	
	15	夏イベントRH	33	卒業制作RH	
	16	夏イベント本番	34	卒業制作本番	
	17	夏イベント振り返り	35	卒業制作振り返り	
18	レーザーについて①	36	年間総まとめ		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	学校規定に沿った成績評価	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	40年を超える照明技術者として従事。音楽ツアーや各種イベントにて照明オペレーター・プランナーとして活躍。				

シラバス

科目名	卒業制作A		担当者名	榎田 博、岩下 保広、米倉 良春	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開講期 必・選	通年 必修	授業時間数	216時間
授業目的	就職後の実務において対応出来る、技術的基礎知識とコミュニケーション能力・責任感を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	学内外のイベントを実現現場同様に扱い、プラン/準備/運用/金銭管理/機材管理を習得する。				
授業概要	④ 実習体制を会社組織に見立て、報・連・相と情報共有を周知する習慣を身につける。 ⑤ デジタルミキサーやデジタル伝送を中心としたハードウェアの操作・取り扱いを習得する。 ⑥ 安全を踏まえた上での、仕込・撤去等の効率化をはかる方法を学ぶ。 ⑦ 趣旨・目的を理解した上での、時間軸を含めたプランニング・資料作成の方法を学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ミーティング 機材リスト作成	19	メンテナンス (チェッカー・テスター・クランプメーター)	
	2	アナログシステム セットアップ	20	楽器の配置・立ち位置	
	3	アウトシステム 1 (NEXO AlphaSystemの機能説明/スタック・結線)	21	TECHNOS祭対応 機材準備・プリセット	
	4	アウトシステム 2 (スタック練習、グランドスタック/イントレス タック)	22	単音チェック 1 (Dr)	
	5	アウトシステム 3 (ARCS/M20/PS15)	23	単音チェック 2 (Bass/Gt)	
	6	デジタルミキサー 1 (CL-5/M7CL セットアップ)	24	軽音連イベント対応 機材準備・プリセット	
	7	デジタルミキサー 2 (SC48 セットアップ)	25	サウンドチェック 1	
	8	マイキング&マイクアレンジ 1 (Dr/Bass/Gt/Cho) (音圧)	26	サウンドチェック 2	
	9	ステージモニター (設置位置・角度・距離)	27	サウンドチェック 3	
	10	システム セットアップ 1 (確実性)	28	ミキシング練習 1	
	11	システム セットアップ 2 (スピード)	29	ミキシング練習 2	
	12	システムチューニング 1 (ハウス/モニター)	30	ミキシング練習 3	
	13	システムチューニング 2 (リファレンス音源決め)	31	マイキング&マイクアレンジ 2 (アコースティック楽器)	
	14	ステージ転換 1	32	サウンドメイキング 2 (スピーチ [合唱][講演][芝居])	
	15	ステージ転換 2 (引き枠ライザー転換)	33	リクエスト実習	
	16	ワイヤレスシステム	34	卒業制作対応 1	
	17	音響電源/音声分岐/サウンドメイキング 1 (音源再生(Q-Lab))	35	卒業制作対応 2	
18	夏イベント対応 機材準備・プリセット	36	リストア・メンテナンス		
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B 70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	音響技術者として30年以上のキャリアを持ち、現在も音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍する。近年ではコロナ禍の対応として、音楽配信やヴァーチャル配信の音声も担当				

シラバス

科目名	卒業制作B		担当者名	月岡 靖智、長谷川 浩司、村野 浩一、 岫 誠彦、岩元 真樹、丸山 和男	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開 講 期 必・選	通年 必修	授 業 時 間 数	216時間
授業目的	学びの集大成であるイベントを作りあげ、自身の企画制作など、知識を発揮する場				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	総合的なイベント企画制作及び知識の習得と活用が可能。 どんなイベントでも対応することのできるイベントプロデューサーへ				
授業概要	音楽やイベントに合った企画制作を学び、本番当日までの作業フロー、全体を学ぶ。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション～ロープワーク	19	TECHNOS祭準備	
	2	クラス内の役割分担、会議の進行	20	TECHNOS祭準備	
	3	企画内容の資料作成	21	TECHNOS祭準備	
	4	企画内容の資料作成	22	TECHNOS祭準備	
	5	企画内容の資料作成	23	企画運営準備2	
	6	舞台図面1	24	企画運営準備2	
	7	舞台図面2	25	外部イベント準備	
	8	動線1	26	外部イベント準備	
	9	動線2	27	卒業制作準備	
	10	企画運営準備	28	卒業制作準備	
	11	企画運営準備	29	卒業制作準備	
	12	企画運営準備	30	卒業制作準備	
	13	企画運営準備	31	卒業制作RH	
	14	イベントリハーサル	32	卒業制作本番	
	15	イベント本番	33	卒業制作反省会	
	16	イベント省察とまとめ	34	卒業制作残務作業	
	17	外部ホール選定方法1	35	テクノス展準備	
18	外部ホール選定方法2	36	年間総まとめ		
成績割合	テスト		学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	40%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	長年舞台監督やイベント制作として業界に従事。音楽イベント・企業イベント・スポーツイベントなど幅広いジャンルで活躍				

シラバス

科目名	課題研究B		担当者名	山本 あいり	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 2学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	144時間
授業目的	後輩指導を通して、社会に出た時に必要となる「人を育てる力」を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	”人に教える・伝えることで自分の持ち合わせている基礎知識をさらに深める 様々なタイプの後輩に対して、それぞれに合ったコミュニケーションの取り方を学ぶ”				
授業概要	1年生のPA実習・照明実習の指導補助として、実習に参加する				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	”基礎舞台について スモーク/SSについて 仕込み”	
	2	オリエンテーション②	20	” PA実践③_A(3WaySystem) 卓の説明・操作/フロント/シーリングについて・仕込み”	
	3	オリエンテーション③	21	” PA実践③_B(3WaySystem) 仮設電源について・仕込み”	
	4	実習上の注意、前期・後期発表日取り	22	” PA実践③_C(3WaySystem) イントロ仕込み”	
	5	”PA基礎①_A(BoseSystem) 灯体の吊り方、回路、色、SUS・ボタンについて”	23	” PA実践④_A(MonitorMix) 星球/ストロボについて 仕込み”	
	6	”PA基礎①_B(BoseSystem) 灯体の種類(PARライト) 仕込み”	24	” PA実践④_B(MonitorMix) PINについて 仕込み”	
	7	”PA基礎②_A(BoseSystem実践) 灯体の種類(凸・フレネル) 仕込み”	25	” PA実践④_C(MonitorMix) Footについて 仕込み”	
	8	” PA基礎②_B(BoseSystem実践) 灯体の種類(ITO) 仕込み”	26	” PA実践⑤_A(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(バラード)”	
	9	” PA実践①_A(2WaySystem) 灯体の種類(ソースフォー) 仕込み”	27	” PA実践⑤_B(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(アップテンポ)”	
	10	” PA実践①_B(2WaySystem) 灯体の種類(ミニブル) 仕込み”	28	” PA実践⑤_C(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(芝居)”	
	11	” PA実践①_C(2WaySystem) 灯体の種類(LH・UHL) 仕込み”	29	後期発表_RH.1	
	12	” PA実践②_A(Band Mix) 灯体の種類(ミラーボール) 仕込み”	30	後期発表_RH.2	
	13	” PA実践②_B(Band Mix) セクション毎に仕込み①(RH/本番の流れについて)”	31	後期発表_GP	
	14	” PA実践②_C(Band Mix) セクション毎に仕込む②(RH/本番の流れについて)”	32	後期発表	
	15	前期発表_RH.1	33	後期反省会	
	16	前期発表_RH.2	34	まとめ①	
	17	前期発表	35	まとめ②	
18	前期の反省、後期発表に向けて	36	まとめ③		
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	授業全体を100%として出席率・意欲・柔軟性・協 調性それぞれを換算し合計点数で成績評価を行う、	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	コンサート・イベント科専任教員				

シラバス

科目名	イベントマネジメントA		担当者名	池淵 智彦	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	専門性を活かし社会貢献やビジネス視点の醸成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	結果を見据えたイベントを制作、企画、運営をできるようにする				
授業概要	地域、企業と連携したイベント作りを通じて社会的緊張感や責任感をもちイベントによる成果を明確に目標だてし、実行する				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	スポーツイベントについて学ぶ(ビジネスモデル)	
	2	展示会について学ぶ(ビジネスモデル)	20	スポーツイベントについて学ぶ(企画)	
	3	展示会について学ぶ(展示会の仕事)	21	スポーツイベントについて学ぶ(図面)	
	4	展示会について学ぶ(企画)	22	スポーツイベントについて学ぶ(運営)	
	5	展示会について学ぶ(図面)	23	スポーツイベントについて学ぶ(効果検証:レポート)	
	6	展示会について学ぶ(運営)	24	ポップアップについて学ぶ(ビジネスモデル)	
	7	展示会について学ぶ(効果検証:レポート)	25	ポップアップについて学ぶ(企画)	
	8	屋外イベントについて学ぶ(ビジネスモデル)	26	ポップアップについて学ぶ(図面)	
	9	屋外イベントについて学ぶ(企画)	27	ポップアップについて学ぶ(運営)	
	10	屋外イベントについて学ぶ(図面)	28	ポップアップについて学ぶ(効果検証:レポート)	
	11	屋外イベントについて学ぶ(運営)	29	パーティー(ビジネスモデル)	
	12	屋外イベントについて学ぶ(効果検証:レポート)	30	パーティー(企画)	
	13	インナーイベントについて学ぶ(ビジネスモデル)	31	パーティー(図面)	
	14	インナーイベントについて学ぶ(企画)	32	パーティー(運営)	
	15	インナーイベントについて学ぶ(図面)	33	パーティー(効果検証:レポート)	
	16	インナーイベントについて学ぶ(運営)	34	授業振り返り	
	17	インナーイベントについて学ぶ(効果検証:レポート)	35	授業振り返り	
18	前半の振り返り	36	最終レポート		
成績割合	テスト		学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	40%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	"ギャップジャパン株式会社、株式会社ムラコシ工業、東京インターナショナルプランニング株式会社後、株式会社LB.NETS、一般社団法人CORD PROJECTを設立。 東京マラソン(2007~2023)冠スポンサーイベント、世界水泳 福岡大会(2023)冠スポンサーイベント、ジョンソン & ジョンソンW杯キャラバン全国ツアー、JLPGAアワード、アンダーアーマー 新商品ローンチイベント、プーマ世界陸上アクティベーション等様々なイベントに関わってきた。"				

シラバス

科目名	電気基礎		担当者名	笹 茂夫	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間
授業目的	電気回路を中心に電気の基礎を学ぶ。学習状況により電磁気や照明工学の内容にも触れてゆく。コンサートイベント科の実習に役立つ内容とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第2種電気工事士試験の「理論」科目の内容が理解できることを目標とする。				
授業概要	"電流の通り道である回路の基本的な取り扱い方を学ぶ。回路を流れる電流や電源電圧など初歩的なことから始め、直流回路をマスターした後、交流回路を扱えるようになることを目的とする。 講義を中心とした形式だが講義に合わせた演習を毎回行う。"				
授業 計画 画 表	授業内容			授業内容	
	1	I. 直流回路 概要説明	19	III. 交流回路の取り扱い方 概要説明	
	2	1. オームの法則	20	1. 交流の複素数表示(交流をベクトルとして扱う)(1)	
	3	2. 抵抗の直列接続	21	2. 交流の複素数表示(交流をベクトルとして扱う)(2)	
	4	3. 抵抗の並列接続	22	3. 単相交流の電力(1)	
	5	4. 抵抗の直並列	23	4. 単相交流の電力(2)	
	6	5. キルヒホッフの法則	24	5. 直列共振 6. 並列共振	
	7	6. 電力	25	IV. 三相交流回路 概要説明	
	8	7. 電力量	26	1. Δ結線	
	9	8. ジュール熱	27	2. Y結線	
	10	II. 交流回路の基礎 概要説明	28	3. 三相交流の電力1	
	11	1. 交流波形(1)	29	4. 三相交流の電力2	
	12	2. 交流波形(2)	30	光の色と波長	
	13	3. 抵抗の働き	31	放射束 光束 光度	
	14	4. コイルの働き	32	光束と照度	
	15	5. コンデンサの働き	33	照度の逆二乗の法則(1)	
	16	6. インピーダンス(RLC直列)	34	照度の逆二乗の法則(2)	
	17	7. インピーダンス(RLC並列)	35	光束発散度 輝度	
18	8. アドミタンス	36	照度計算		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	"前期、後期 成績表送付 講義に合わせた演習を毎回行ない質問を受け付ける。"	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	0%	成績評価	"出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点 C60~69点、D59点以下不合格"	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において電気工学分野で十分な教育経験を有する。また現役の電気主任技術者でもあり電気設備現場の実践的な内容も講義に取り入れる。第2種電気主任技術者、第2種電気工事士の資格を取得している。				

シラバス

科目名	VW建築講義		担当者名	上條 淳子		
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	72時間	
授業目的	Vectorworksを使った2DCAD操作を習得する					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Vectorworksでのコマンド操作や各種設定方法を学び、CADでの作図やデータのやり取りが出来るようになることを目標とする					
授業概要	図面のトレースや新規作図、実測情報による作図をVectorworksを使って進める演習形式で行う					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	VectorWorksについての概論	19	レイアウト演習①		
	2	積み込み図面作成①	20	レイアウト演習②		
	3	積み込み図面作成②	21	レイアウト演習③		
	4	積み込み図面作成③	22	実測と作図①		
	5	シンボル作成①	23	実測と作図②		
	6	シンボル作成②	24	実測と作図③		
	7	シンボル作成③	25	実測と作図④		
	8	シンボル作成④	26	実測と作図⑤		
	9	図面トレース①	27	3D作図		
	10	図面トレース②	28	図面トレース⑩		
	11	図面トレース③	29	図面トレース⑪		
	12	図面トレース④	30	図面トレース⑫		
	13	図面トレース⑤	31	図面トレース⑬		
	14	図面トレース⑥	32	図面トレース⑭		
	15	図面トレース⑦	33	図面トレース⑮		
	16	図面トレース⑧	34	図面トレース⑯		
	17	図面トレース⑨	35	図面トレース⑰		
	18	演習復習①	36	演習復習②		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	成績送付		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	70%	成績評価	*出席率80%以上、 S 90~100点、A 80~89点、 B 79~70点、C 60~69点、 D 59点以下(不可)*		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>70% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	建築の意匠設計を専門としています。住宅、集合住宅、保育園、グループホーム、飲食店などの新築やリフォームの設計をしています。実務ではVectorworksをメインのCADソフトとして使っています。					

シラバス

科目名	プレゼンテーション		担当者名	堀切 昌美、山本 あいり	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	前期	授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選	必選		
授業目的	自分が言いたい意見をわかりやすく伝えることや、アイデアを提案する力など、社会において求められることは多い。授業において、他者に説得力をもって話す力、スキルや態度をプレゼンを通して培っていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・話したいことについての話す順序・構成の仕方を学ぶ ・情報収集と、取捨選択をして、考える力を高める ・問題意識を持って調べたり、他者と議論することができる。 ・他者の意見を聞き、自分の考えを深め、説明することができる。 ・プレゼンを通して、他者にわかりやすく論理的に説明できる。 				
授業概要	個人ワークを中心に、3分プレゼン・5分プレゼン・7分プレゼンに挑戦する。 発表後はコメントして適宜フィードバックを行う。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	授業の目的、進め方、スピーチとプレゼンの違い	19	プレゼン準備2(イベント企画①)	
	2	言いたいことを100字にまとめるワーク	20	プレゼン準備3(イベント企画①)	
	3	構成の仕方 訴求ポイント	21	イベント企画①プレゼン本番	
	4	おススメプレゼン テーマ決め 概要と時間配分	22	プレゼン準備1(好きな音楽)	
	5	おススメプレゼン 構成(テーマを選んだ理由・伝える内容の整理)	23	プレゼン準備2(好きな音楽)	
	6	プレゼン用パワポ資料の作成	24	プレゼン準備3(好きな音楽)	
	7	資料作成 書体の基本、見やすいフォント 段組みなど	25	好きな音楽 プレゼン本番	
	8	シナリオ作成 話し方のポイント	26	プレゼン準備1(自分の将来について)	
	9	一人ずつ 3分プレゼン	27	プレゼン準備2(自分の将来について)	
	10	3分プレゼン 講評・自己評価	28	プレゼン準備3(自分の将来について)	
	11	わかりやすい説明とは テーマについての課題と把握	29	自分の将来について プレゼン本番	
	12	構成と訴求ポイント	30	プレゼン準備1(後輩に残したいもの)	
	13	スライド作成	31	プレゼン準備2(後輩に残したいもの)	
	14	スライド作成 チームでの話し合い	32	プレゼン準備3(後輩に残したいもの)	
	15	発表 質疑応答	33	後輩に残したいもの 本番	
	16	発表 質疑応答	34	年間振り返り①	
	17	総括 ふりかえり	35	年間振り返り③	
18	プレゼン準備1(イベント企画①)	36	次年度へ向けて・・・		
成績割合	テスト		学習FB方法	評価シート返却時、Teams課題提出時に個別にアドバイスを行う。授業内の発表時においても成果と課題を評価し成長を促したい。	
	学習態度・出席率			成績評価	総合に判断し、S(100-90点)A(89-80点)B(79-70点)C(69-60点)を単位認定し、59点以下は不可とする。
	レポート				
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	私立高校国語教諭、公立小学校、特殊教育、日本語教師を経て、民間企業に転身。営業部配属中に月間一千万円を売り上げ、女性マネージャに昇格。フランス・ルーブル美術館で行われたキモノショーの裏方経験をする。その後、企画部、人事部と渡り歩き新人研修・中途採用研修の仕事に携わるうち、自身の培った何らかを若い世代に伝え、貢献したいとの思いから教育界に復帰。現在は、大学・専門学校・通信制高校においても教鞭をとる。企業業務委託講師としても活躍中。当校では、15年以上指導に当たっている。				

シラバス

科目名	ビジネスマナーⅡ		担当者名	相川 奏恵	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	通年 必選	授業時間数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ■就活力を身につける ■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる 				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③	
	2	就活・面接・企業研究シート	20	来客応対・名刺・紹介のマナー	
	3	自己分析・リフレーミング	21	バリアフリー①アシスト	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	バリアフリー②ハラスメント	
	5	敬語①	23	ビジネス文書①	
	6	敬語②	24	ビジネス文書②	
	7	敬語③	25	クレーム対応①	
	8	敬語テスト・解説	26	クレーム対応②	
	9	ソーシャルスキル①	27	顧客心理	
	10	ソーシャルスキル②	28	ストローク	
	11	文章上達①	29	知って得する社会のマナー	
	12	文章上達②	30	指示命令の受け方と報連相	
	13	創造力①	31	ビジネス文書①	
	14	創造力②	32	ビジネス文書②	
	15	創造力③	33	上手な仕事の進め方①	
	16	会社の使命・社員の役割	34	上手な仕事の進め方②	
	17	電話応対①	35	段取り力・8つの意識	
18	電話応対②	36	上手な指導の受け方・愛される社員になる		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、各市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA他				

シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	キャリアセンター 佐藤・沼田	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション	
	2	キャリアについて考える I	20	卒業visionを磨く	
	3	キャリアについて考える II	21	就活の軸を考える	
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え	
	5	自己探究 I	23	SDGsとこれからの働き方について考える	
	6	自己探究 II	24	就職活動について考える	
	7	グローバルとキャリアについて I	25	就活と生成AIツールの活用について I	
	8	グローバルとキャリアについて II	26	就活と生成AIツールの活用について II	
	9	インターンシップについて考える I	27	特別講座に向けて準備	
	10	インターンシップについて考える II	28	履歴書の書き方について	
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習	
	12	卒業Visionを振り返る	30	自己プロデュースをやってみよう	
	13	インターンシップ準備	31	プレゼンテーションをやってみよう	
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習	
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習	
	16	グループディスカッション練習	34	卒業VISIONの確認	
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り	
	18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り	
成績割合	卒業ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	キャリアセンター 宮鍋・井上	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを描く(磨く)ための知識の醸成と経験の蓄積				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ありたい姿の確立と達成するための経験・スキルを身に着ける				
授業概要	インターンシップなど社会探究に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	オリエンテーション②	
	2	自分の理想の人生を考える①	20	学生と社会人の違い	
	3	自分の理想の人生を考える②	21	学び探究の重要性①	
	4	自己探究の重要性①	22	学び探究の重要性②	
	5	自己探究の重要性②	23	テクノス祭の活用①	
	6	社会探究の重要性①	24	テクノス祭の活用②	
	7	社会探究の重要性②	25	大学コースの価値②	
	8	グローバルな働き方①	26	インターン対策③	
	9	グローバルな働き方②	27	インターン対策④	
	10	大学コースの価値①	28	テーマ別グループワーク①	
	11	WEBテスト	29	テーマ別グループワーク②	
	12	インターン対策①	30	テーマ別グループワーク③	
	13	インターン対策②	31	テーマ別グループワーク④	
	14	卒後ビジョンとキャリア(就職)①	32	テーマ別グループワーク⑤	
	15	卒後ビジョンとキャリア(就職)②	33	卒後VISIONブラッシュアップ②	
	16	卒後VISIONブラッシュアップ①	34	下期・1年の振り返り	
	17	上期の振り返り・下期目標設定	35	具現抽象トレーニング②	
18	具現抽象トレーニング①	36	具現抽象トレーニング③		
成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	一般常識 I		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	選択	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>“数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。”</p>				
授業概要	<p>“数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。”</p>				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	「数学」オリエンテーション一般常識「国語」「社会」オリエンテーション	19	速さの文章問題(2) 日本文学	
	2	数の計算漢字一字の読み	20	規則性などの文章問題(1) 世界文学	
	3	式の計算二字熟語の読み	21	規則性などの文章問題(2) 国語 成績判定試験(2)	
	4	数と量の文章問題(1) 慣用語の読み	22	場合の数(1) 民主主義	
	5	因数分解(1) 常用漢字外の読み	23	場合の数(2) 日本国憲法	
	6	因数分解(2) 漢字一字の書き取り	24	確率(1) 国際社会	
	7	約数と倍数二字熟語の書き取り	25	確率(2) 資本主義経済・企業	
	8	平方根の計算(1) 同訓異字の書き取り	26	数学 後期成績判定テスト(1) 国民経済・日本の経済	
	9	平方根の計算(2) 同音異義語の書き取り(1)	27	数と式の計算 復習テスト貨幣・金融・財政	
	10	数学 前期成績判定テスト(1) 同音異義語の書き取り(2)	28	方程式と不等式 復習テスト(1) 社会 成績判定試験(1)	
	11	1次方程式、連立方程式国語 成績判定試験(1)	29	方程式と不等式 復習テスト(2) 日本史(1)	
	12	2次方程式対義語・類義語の書き取り	30	総合文章題 復習テスト(1) 日本史(2)	
	13	不等式似形異字の書き取り	31	総合文章題 復習テスト(2) 世界史	
	14	数と量の文章問題(2) 書き誤りやすい漢字	32	関数とグラフ 復習テスト日本地理	
	15	割合の文章問題(1) 同字異音・同字異訓の読み書き	33	場合の数と確率(1) 世界地理	
	16	割合の文章問題(2) 四字熟語の読み書きと意味	34	場合の数と確率(2) 思想・社会・文化	
	17	数学 前期成績判定テスト(2) 故事成語・諺・慣用句・金言の完成と意味	35	数学 後期成績判定テスト(2) 社会 成績判定試験(2)	
	18	速さの文章問題(1) 語句の読みと意味	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法	“数学 前期・後期 成績表送付 国語・社会 前期・後期 成績表送付”	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	S:90-100, A:80-89, B:70-79, C:60-69 ,D:0-59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	榎村 麻里子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目(全7科目)の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「社会人の常識とマナー」「コミュニケーション論」「ビジネス文書&メールの書き方」「情報分析力を鍛える」「考える力をつける」「企画力を強化する」「自由が丘とブランディング」				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①産業能率大学通信制とレポート&試験	19	情報分析力を鍛える①	
	2	オリエンテーション②レポート作成のポイント①	20	情報分析力を鍛える②	
	3	オリエンテーション③年間の取組計画	21	情報分析力を鍛える③	
	4	ビジネス文書&メールの書き方①	22	考える力をつける①	
	5	ビジネス文書&メールの書き方②	23	考える力をつける②	
	6	ビジネス文書&メールの書き方③	24	考える力をつける③	
	7	社会人の常識とマナー①	25	企画力を強化する①	
	8	社会人の常識とマナー②	26	企画力を強化する②	
	9	社会人の常識とマナー③	27	企画力を強化する③	
	10	コミュニケーション論①	28	自由が丘とブランディング①	
	11	コミュニケーション論②	29	自由が丘とブランディング②	
	12	コミュニケーション論③	30	自由が丘とブランディング③	
	13	評論読解と要約のポイント①	31	レポート作成のポイント③	
	14	評論読解と要約のポイント②	32	評論読解と要約のポイント③	
	15	レポート作成のポイント②	33	論理と文章構成②	
	16	論理と文章構成①	34	後期内容振り返り	
	17	前期内容振り返り	35	年間内容振り返り	
18	後期レポート作成計画	36	まとめ		
成績割合	テスト		なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率		50%		
	レポート		50%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	吉田 緑	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論、各論)である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすること を目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験に合わせて授業内容が変わる場合もある。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	刑法(各論):第2課題	
	2	オリエンテーション	20	刑法(各論):第2課題	
	3	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	21	民法(債権総論):第1課題	
	4	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	22	民法(債権総論):第1課題	
	5	レポートの書き方①	23	民法(債権総論):第2課題	
	6	レポートの書き方②	24	民法(債権総論):第2課題	
	7	課題の題意把握	25	民法(債権各論):第1課題	
	8	課題の題意把握	26	民法(債権各論):第1課題	
	9	憲法:第1課題	27	民法(債権各論):第2課題	
	10	憲法:第1課題	28	民法(債権各論):第2課題	
	11	憲法:第2課題	29	憲法(残りの課題)	
	12	憲法:第2課題	30	刑法(残りの課題)	
	13	刑法(総論):第1課題	31	刑法(残りの課題)	
	14	刑法(総論):第1課題	32	民法(残りの課題)	
	15	刑法(総論):第2課題	33	民法(残りの課題)	
	16	刑法(総論):第2課題	34	結果報告	
	17	刑法(各論):第1課題	35	まとめ	
18	刑法(各論):第1課題	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	随時指導する。前期・後期成績表送付。	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でフリーランスライターでもある。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子、原 祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	日大英文科で二学年に修得すべき科目である、アメリカ文学史とイギリス文学史(18世紀以降)の知識の習得と理解を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	具体的には以下の科目の単位取得を目指す。 ・イギリス文学史Ⅱ(4単位) ・アメリカ文学史(4単位)				
授業概要	基本的には毎回配布するプリントを用いて授業を行う。ただし指定教科書である『イギリス文学史Ⅱ』(日本大学通信教育学部)、『アメリカ小説入門』(研究社)に加え、適宜副次資料を配り、理解の助けとする。 また、同時進行で言及した作家の短編作を読み、内容理解と英文読解にも努める。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	スケジュール説明:レポート期限、テスト期限 ・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要1(清教徒革命の影響)	19	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『緋文字』	
	2	・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要2(フランス革命の影響) ・トリコロール(自由・平等・博愛)	20	アメリカ文学史⑤～⑥までの小テスト	
	3	・イギリス文学史①(ロマン主義・詩)ワーズワース、コールリッジ	21	アメリカ文学史⑨ ポストモダンの時代 i ヘンリー・ミラー、サリンジャー、ビートジェネレーション、アーサー・ミラーなど	
	4	・イギリス文学史②(ロマン主義・詩)バイロン、シェリ、キーツ	22	アメリカ文学史⑩ ポストモダンの時代 ii カポーティ、テネシー・ウィリアムズ、ウォネガット、アップダイク、アーヴィングなど	
	5	イギリス文学史③(ロマン主義・小説)スコット、オースティン アメリカ文学史:歴史的概要	23	アメリカ文学史⑪ マイノリティ文学、公民権運動 ボールドウィン、アリス・ウォーカー、トニ・モリスン、ナボコフ、ピンチオンなど	
	6	アメリカ文学史① 植民地時代(ピューリタニズム) アン・ブラッドストリート、エドワーズ、ベンジャミン・フランクリンなど。	24	アメリカ文学史⑨～⑩までの小テスト	
	7	アメリカ文学史② 独立期から西漸運動(ロマン主義の時代 i) ブラウン、アービング、クーパー、エドガー・アラン・ポーなど。	25	イギリス文学史④ ヴィクトリア朝時代 i …ディケンズ、サッカレー、プロンテ姉妹	
	8	アメリカ文学史③ 独立期から南北戦争まで(ロマン主義時代 ii) エマソン、メルヴィル、ホーソン、ホイットマン、ディキンソンなど	26	イギリス文学史⑤ ヴィクトリア朝時代 ii …エリオット、メーリス、ギヤスケルら	
	9	アメリカ文学史④ 南北戦争から第一次大戦まで。(リアリズム小説) オールcott、マークトウェイン、ハウエルズ、ジェームズなど	27	イギリス文学史⑥ ヴィクトリア朝時代 iii …テニスン、ブラウニングなど詩人連	
	10	書籍資料を参考にして、Adventures of Huckleberry Finn の特徴(文体・内容・時代背景)を考えてみる。	28	イギリス文学史⑦ 第一次世界大戦とその周辺 i …ハーディ、ヘンリー・ジェームズ、コンラッド、キプリングなど多数	
	11	イギリス文学史①～③ アメリカ文学史①～④までの小テスト	29	イギリス文学史⑧ 第一次世界大戦とその周辺 ii …作家:H.G.ウェルズ、ステューブソン、コナン・ドイル。詩人:ホプキンス、イェイツ	
	12	アメリカ文学史⑤ 第一次大戦と海外膨張政策(自然主義小説) リス、クレイン、ドライサー、ジャック・ロンドンなど	30	イギリス文学史⑨ 第一次世界大戦とその周辺 iii …小説家:オズカー・ワイルド、モーム、フォスター。劇作家:バーナード・ショーなど	
	13	ジャック・ロンドン To Build a Fire の読解	31	イギリス文学史⑩ 第二次世界大戦とその周辺 …戦争と歴史。作家:ヴァージニア・ウルフ、ジェームズ・ジョイスなど	
	14	アメリカ文学史⑥ モダニズムの時代…狂騒の20年代 i キャザー、エズラ・パウンド、ウィリアム・ウィリアムズ、ヘミングウェイなど。	32	イギリス文学史⑫ 第二次世界大戦から現代まで…「ゆりかごから墓場まで」 作家:ロレンス、オーウェル、グリーン、ゴールディングなど	
	15	アメリカ文学史⑦ モダニズムの時代…狂騒の20年代 ii フォークナー、フロスト、バーンズ、ハーストン、ラングストン・ヒューズなど。	33	文学研究の「テーマ」について① "人種(Race)"	
	16	アメリカ文学史⑧ モダニズムの時代…ジャズ・エイジ iii フィッツジェラルド、ハメット、スタインベック、リチャード・ライトなど。	34	文学研究の「テーマ」について② "社会階級(Social Class)"	
	17	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『ハックルベリーフィンの冒険』	35	文学研究の「テーマ」について③ "性差(Gender)"	
18	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『ロミオとジュリエット』	36	文学研究の「テーマ」について④ "セクシュアリティ(Sexuality)"		
成績割合	テスト		学習FB方法	レポート課題添削、日大からのレポート課題講評、試験結果等	
	学習態度・出席率	50パーセント			
	レポート		成績評価	科目習得試験取り組み状況、学習態度・出席状況	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体験型学習>>30				
講師プロフィール	東京学芸大学・教育学研究科英語教育(英米文学)課程の修士号を取得。 都立の定時制高校ほかで英語講師を14年務めてきた。				

シラバス

科目名	英語基礎 I		担当者名	鈴木良	
学科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	大学コース日大国文学専攻の学生が、卒業に必要な英語科目8単位のうち、2単位を修得できる英語力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 日大通信教育「英語基礎」2単位のレポート課題に合格する。 2. 日大通信教育「英語基礎」2単位の科目修得試験に合格する。				
授業概要	教科書の理解、小テスト、定期試験、レポート課題作成、科目修得試験対策				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	Unit 1		19	Unit 8
	2	Unit 1		20	Unit 8
	3	Unit 1		21	Unit 8 小テスト、Unit 10
	4	Unit 1		22	Unit 10
	5	Unit 1		23	Unit 10
	6	Unit 4		24	Unit 10
	7	Unit 4		25	Unit 10 小テスト、Unit 12
	8	Unit 1 小テスト、Unit 4		26	Unit 12
	9	Unit 4		27	Unit 12
	10	Unit 4		28	Unit 12
	11	Unit 4 小テスト、Unit 6		29	Unit 12 小テスト、Unit 13
	12	Unit 6、レポート作成		30	Unit 13
	13	Unit 6、レポート作成		31	Unit 13
	14	Unit 6、レポート作成		32	Unit 13
	15	Unit 6		33	Unit 13 小テスト
	16	前期期末試験		34	まとめ
	17	Unit 8		35	後期期末試験
18	Unit 8		36	試験返却	
成績割合	テスト		45%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率		30%		
	レポート		25%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	英文学、英語学を専門とし、日大通信教育部にて中学校、高等学校教員免許(英語)を取得				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるレポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのレポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について	19	連歌の形式	
	2	授業オリエンテーション 履修科目のレポート課題提出について	20	俳諧の歴史	
	3	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	21	芭蕉の文学	
	4	国文学科目概要・講義概説	22	謡曲の種類	
	5	「国文学基礎講義」レポート課題概説 レポート作成に向けて	23	「国文学講義」I(上代) 課題1 レポート作成に向けて	
	6	『日本古典文学』第1章 古代(一記紀と風土記を読む)	24	『国文学講義』I(上代) レポート課題1の作成に向けての、『万葉集』「宴席歌」について。	
	7	「国文学基礎講義」課題1 レポート作成	25	「国文学講義」I(上代) 課題1 レポート作成 「万葉集」以外の『万葉集』の「宴席歌」の選定	
	8	『日本古典文学』第7章 近世(一近松と西鶴の文学を読む)	26	『万葉集』の「宴席歌」について	
	9	「国文学基礎講義」課題2 レポート作成に向けて	27	「国文学講義」I(上代) 課題2 レポート作成に向けて	
	10	「国文学基礎講義」課題2 レポート作成	28	『万葉集』「宴席歌」から 田辺福麻呂の歌 巻18(4032~4035)	
	11	「国文学概論」レポート作成に向けて	29	『万葉集』「宴席歌」から 橘諸兄の歌 巻17(3926左)	
	12	『国文学概論』(第二分冊) 物語文学	30	『万葉集』「宴席歌」 藤原朝臣仲麻呂の歌から 巻20(4242・4487)	
	13	「国文学概論」課題1 レポート作成	31	『万葉集』「宴席歌」から 巻17(3943~3955)の宴席歌群について	
	14	『国文学概論』(第四分冊) 近代文学	32	『万葉集』「宴席歌」から 大伴坂上郎女の歌 巻4(585・651・652)	
	15	「国文学概論」課題2 レポート作成	33	『万葉集』の宴席を考えるー梅花の宴を通して	
	16	『古今和歌集』 国風暗黒時代・「真名序」・「二聖」・「六歌仙」	34	『国文学講義』I(上代) レポート課題の作成・提出に向けて	
	17	鴨長明と兼好 『方丈記』・『徒然草』	35	授業まとめ／振り返り	
	18	『新古今和歌集』 後鳥羽院と藤原定家・『新古今和歌集』の編纂・新古今歌風	36	授業まとめ／振り返り	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>10%				
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)				

シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	担任	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位	2	開講期	通年	授業時間数	36コマ
開講学年	2年生	必・選	必修選択		
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための知識・経験を積む。				
授業概要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイやフィールドワークなどを通じ、体得する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・就活状況の確認	19	後期の講義内容に関して&個人面談	
	2	内定後の過ごし方&個人面談①	20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル	
	3	一般常識ワーク&個人面談②	21	一般常識ワーク&個人面談①	
	4	ビジネス書読書&個人面談③	22	一般常識ワーク&個人面談②	
	5	【自習】目指す業界の未来を考える&個別面談	23	ビジネス書読書&個人面談③	
	6	【自習】企業研究(国内外)&個人面談	24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)	
	7	目指す業界の未来を発表する	25	前期で上がった課題に関するワーク	
	8	【自習】第二志望の業界を調べる&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	30	コミュニケーションスキル③伝える力	
	13	海外で働くことをイメージ	31	個人面談④ 卒業ビジョンを基に	
	14	一般常識ワーク&個人面談④	32	個人面談⑤ 卒業ビジョンを基に	
	15	一般常識ワーク&個人面談⑤	33	個人面談⑥ 卒業ビジョンを基に	
	16	前期 振り返りと課題発見	34	確認テスト・まとめ1	
	17	後期の課題解決に向けたGD	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期 振り返り	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	卒業ビジョンの提出		70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)		30%		
	合計		100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	キャリアセンター 井上・(宮鍋)	
学科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを明確化するための知識の醸成と経験を積む。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを磨く。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身につける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション ①アイイスブレイク ②知識アンケート	19	オリエンテーション 前期の振り返り	
	2	職業観の醸成(3名のレング職人)	20	社会人基礎力の確認	
	3	社会探究がなぜ必要か	21	自己探究 モチベーショングラフ 自分の価値観	
	4	大学コースの強み	22	社会人のコミュニケーションとは	
	5	社会探究の方法 ヒント	23	学生が企画する授業①	
	6	インターンシップの目的 期間と時間 活用 選び方 探し方	24	学生が企画する授業②	
	7	インターン対策①履歴書編	25	冬のインターンシップの準備	
	8	グローバルな働き方	26	図書館 感銘を受けた本ワーク	
	9	職業人講話	27	ガクチカを具体的に表現する方法	
	10	インターン対策 ルールマナー編&自己探究	28	自己PR 動画作成	
	11	インターン対策 面接編	29	オンライン面接の練習	
	12	夏のインターン報告会趣旨説明	30	Gディスカッション練習	
	13	インターン計画	31	Gワーク練習	
	14	夏のインターン報告会	32	エントリーシートの書き方	
	15	自己探究 自分から見た強み 社会から見た強み	33	冬のインターン報告会	
	16	先輩に学ぶ	34	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
	17	社会探究ワーク	35	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
18	社会探究ワーク	36	自分のありたい姿、磨き直しワーク		
成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	一般常識Ⅱ		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	選択	授業時間数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>〃数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。</p> <p>国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。</p> <p>社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。〃</p>				
授業概要	<p>〃数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。</p> <p>国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。</p> <p>社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。〃</p>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	数学 中間テスト1回目	国語 語句の読みと意味
	2	オリエンテーション	20	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学
	3	オリエンテーション	21	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学
	4	国語 オリエンテーション 数学 百分率・歩合	22	数学 百分率・歩合・速度	国語 成績判定試験
	5	数学 速度	23	数学 単位・比例と比例式	社会 民主主義
	6	数学 単位	24	数学 小テスト	社会 日本国憲法
	7	数学 比と比例式	25	数学 倍数・約数	社会 国際社会
	8	数学 倍数・約数	26	数学 因数分解	社会 資本主義経済・企業
	9	数学 因数分解	27	数学 小テスト	社会 国民経済・日本の経済
	10	数学 一次方程式	28	数学 一次方程式・連立方程式	社会 貨幣・金融・財政
	11	数学 連立方程式	29	数学 二次方程式	社会 日本史(近世・近代・現代)
	12	数学 二次方程式	30	数学 小テスト	社会 世界史
	13	数学 図形の面積	31	数学 図形の面積	社会 日本地理
	14	数学 図形の体積	32	数学 図形の体積	社会 世界地理
	15	数学 一次関数	33	数学 小テスト	社会 思想・社会・文化
	16	数学 二次関数	34	まとめ	
	17	数学 場合の数	35	まとめ	
	18	数学 確率	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法	成績通知	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≧25% R≪実働実践型学習≧25% A≪主体的参加型学習≧25% G≪海外体感型学習≧25%				
講師プロフィール	<p>〃数学担当 最終学歴：岩手大学工学部。国内大手及び外資系機械メーカー勤務の後、理数系科目の講師を勤める。</p> <p>国語・社会担当 最終学歴：慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、英語・国語・社会の講師を勤める。〃</p>				

シラバス

科目名	特別講座2A 大学支援 総合Ⅱ		担当者名	若林 芳勝	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	選択	授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目(全8科目)の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「人材マネジメント論入門」「ストリートファッション論」「企業家に学ぶ経営」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「リーダーシップ論」「チームマネジメント論」				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション		19	講義
	2	オリエンテーション		20	講義
	3	講義		21	講義
	4	講義		22	講義
	5	講義		23	講義
	6	講義		24	講義
	7	講義		25	講義
	8	講義		26	講義
	9	講義		27	講義
	10	講義		28	講義
	11	講義		29	講義
	12	講義		30	講義
	13	講義		31	講義
	14	講義		32	講義
	15	講義		33	講義
	16	講義		34	講義
	17	定期試験に向けて総まとめ		35	定期試験に向けて総まとめ
	18	定期試験に向けて総まとめ		36	定期試験に向けて総まとめ
成績割合	テスト		なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率		50%		
	レポート		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100 A80～89 B70～79 C60～69 D59以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	経営学の知識は社会に出てから必ず必要とされます。一緒に学習しましょう。				

シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1, 民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②	
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①	
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②	
	4	民法1第4課題の解説①	22	民法1第1課題の解説①	
	5	民法1第4課題の解説②	23	民法1第1課題の解説②	
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①	
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②	
	8	民法2第1課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①	
	9	民法2第1課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②	
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①	
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②	
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説	
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①	
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②	
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説	
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①	
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②	
18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>5%				
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	原祥	
学科			授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選	選択		
授業目的	日大英文学科の所定の科目を修得する。教員のサポートを受けながら、レポートを作成し、科目修得試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	以下の日大科目に合格する。 1. 英語Ⅰ(2単位) 2. 英語音声学(4単位) 3. 英文法(4単位)				
授業概要	教科書の理解、レポート課題作成、科目修得試験対策、定期試験				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	英語Ⅰレポート課題	19	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題2	
	2	英語Ⅰレポート課題	20	英文法レポート課題2	
	3	英語Ⅰレポート課題、英語Ⅰ試験対策	21	英文法レポート課題2	
	4	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 調音器官、単音について	22	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	5	休講(みどりの村)	23	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	6	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	24	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	7	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	25	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	8	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	26	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	9	英語音声学: 語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	27	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	10	英語音声学: 語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	28	英語文学概説レポート課題1	
	11	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題1	29	英語文学概説レポート課題1	
	12	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	30	英語文学概説レポート課題2	
	13	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	31	英語文学概説レポート課題2	
	14	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	32	スピーチコミュニケーションレポート課題	
	15	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	33	英作文レポート課題	
	16	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	34	まとめ	
	17	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	35	後期期末試験	
18	前期期末試験	36	試験返却		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	口頭	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	70%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習>>60% R≪実働実践型学習>>40% A≪主体的参加型学習>>40% G≪海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	月本直子	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史の意味付けを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するレポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のレポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要説明	19	国語学概論「文章と文体」	
	2	国文学史Ⅰ「日記と随筆」	20	国語学概論「敬語」	
	3	国文学史Ⅰ レポート作成	21	国語学概論「日本語教育」	
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論「心理言語学」	
	5	国文学史Ⅰ レポート作成	23	レポート作成	
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ「文明開化と『文学』の変容」	
	7	国文学史Ⅰ「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ「明治中期の小説」	
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ「自然主義文学」	
	9	国文学史Ⅰ「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ「漱石と鷗外」	
	10	国文学史Ⅰ「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ「耽美派」	
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ「白樺派」	
	12	国文学史Ⅰ「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ『『新思潮』と大正期教養主義』	
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ「プロレタリア文学」	
	14	国語学概論「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ「新感覚派」	
	15	国語学概論「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ「戦後文学」	
	16	レポート作成に向けて	34	まとめ	
	17	国語学概論「意味」	35	まとめ	
18	国語学概論「意味」	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習>70% R≪実働実践型学習>60% A≪主体的参加型学習>80% G≪海外体感型学習>20%				
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。				